

農作物病害虫発生現況情報（7月）キャベツ編

1 コナガ

- (1) 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップへの誘殺数は、7月第2半旬から第3半旬にかけてピークが見られた（図1）。
- (2) 軽米町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりも少なく推移した（図2）。
- (3) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、平年並に推移した（図3）。
- (4) 7月中旬の巡回調査では、産卵は確認されず、幼虫の発生圃場率は10.0%で平年より少なかった（産卵圃場率：平年36.1%、図4、幼虫発生圃場率：平年40.4%、図5）。

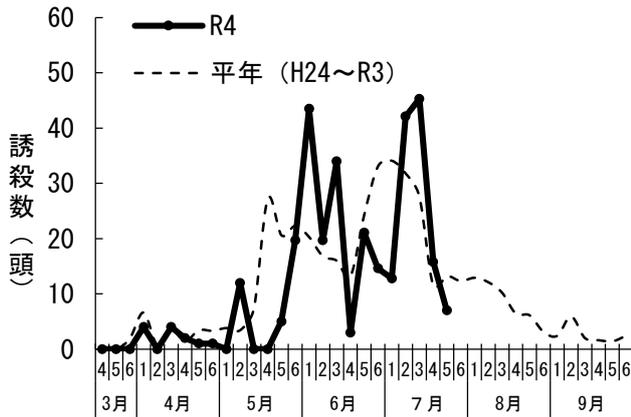


図1 基準圃場（北上市成田）におけるコナガのフェロモントラップ誘殺状況

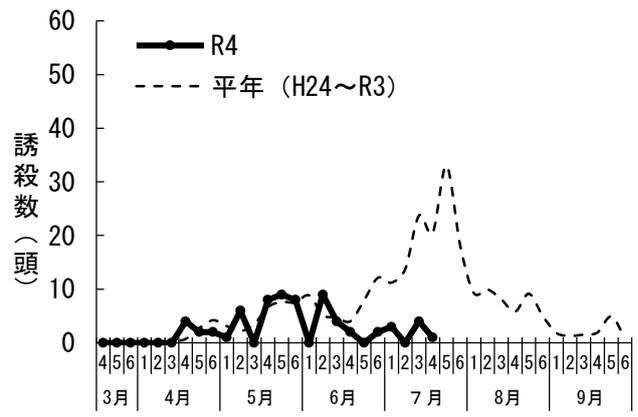


図2 軽米町におけるコナガのフェロモントラップ誘殺状況

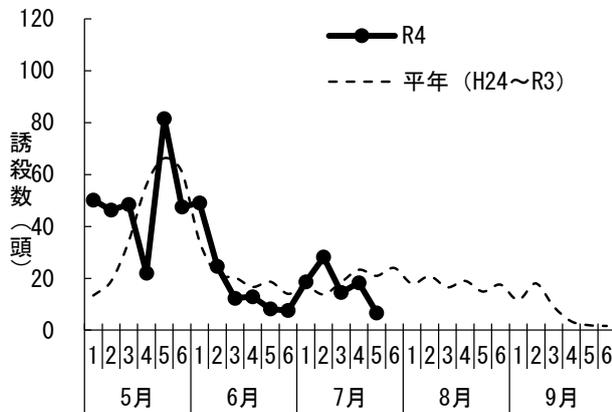


図3 岩手町におけるコナガのフェロモントラップ誘殺状況

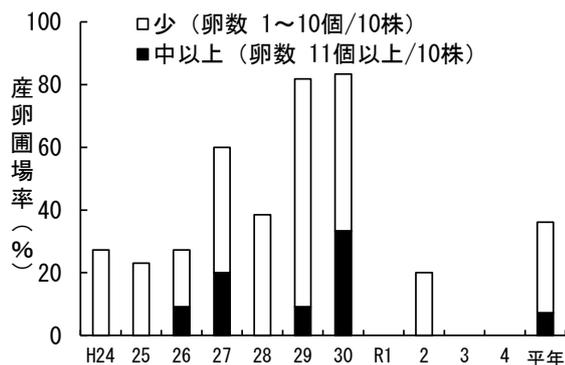


図4 コナガ産卵圃場率の年次推移（7月中旬）

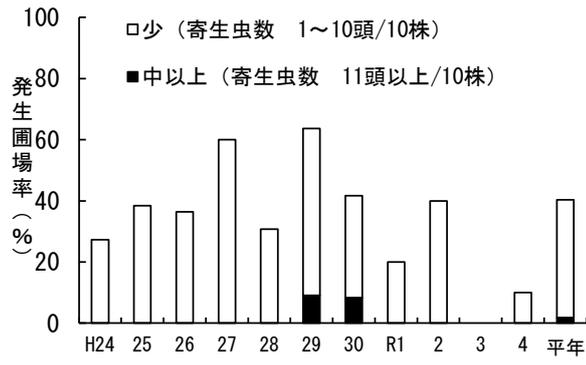


図5 コナガ幼虫発生圃場率の年次推移（7月中旬）

2 ヨトウガ

- (1) 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップへの誘殺は、7月には確認されなかった（図6）。
- (2) 軽米町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、7月には確認されなかった（図7）。
- (3) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、7月第2半旬に増加した（図8）。
- (4) 7月中旬の巡回調査では、産卵は確認されなかった（平年6.3%、図9）。

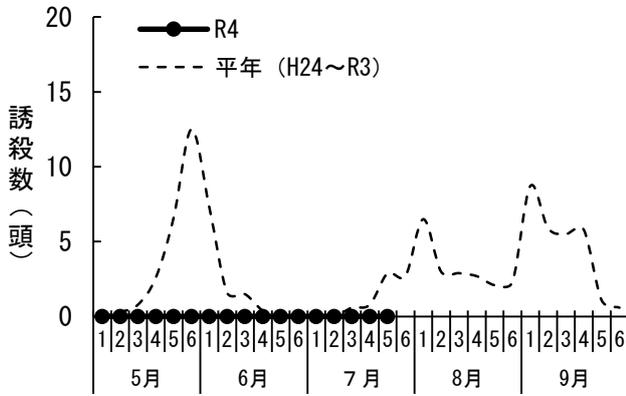


図6 基準圃場（北上市成田）におけるヨトウガの誘殺状況

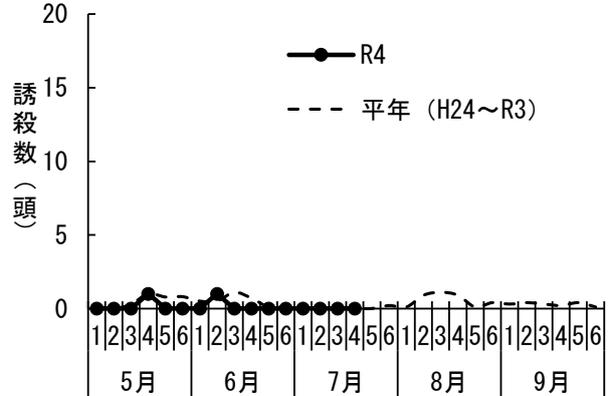


図7 軽米町におけるヨトウガのフェロモントラップ誘殺状況

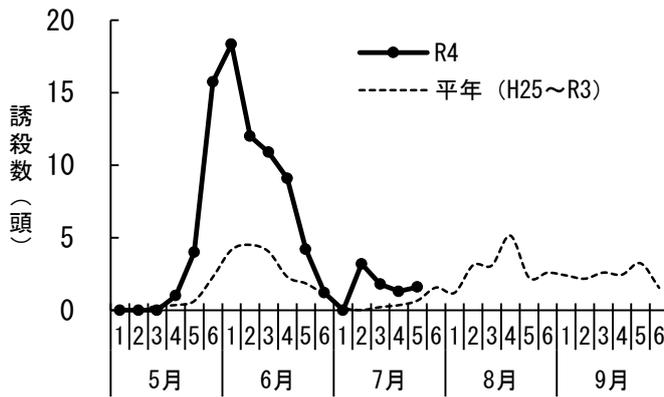


図8 岩手町におけるヨトウガのフェロモントラップ誘殺状況

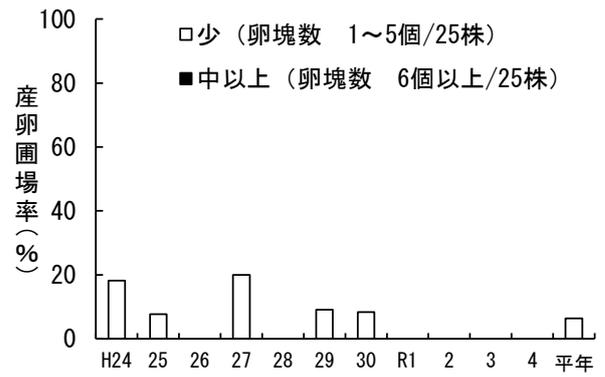


図9 ヨトウガ産卵圃場率の年次推移（7月中旬）

3 タマナギンウワバ

- (1) 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップへの誘殺数は、7月第3半旬に大きく増加した（図10）。
- (2) 軽米町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、7月第3半旬に大きく増加した（図11）。
- (3) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりもやや多く推移した（図12）。
- (4) 7月中旬の巡回調査では、幼虫の発生圃場率は40.0%（平年16.0%）で、平年より高かった（図13）。
- (5) 幼虫の発生は、適期防除が行われている圃場では少なかった。

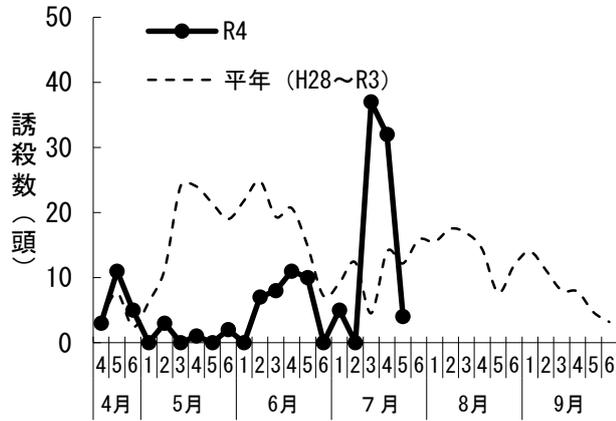


図10 基準圃場（北上市成田）におけるタマナギンウワバのフェロモントラップ誘殺状況

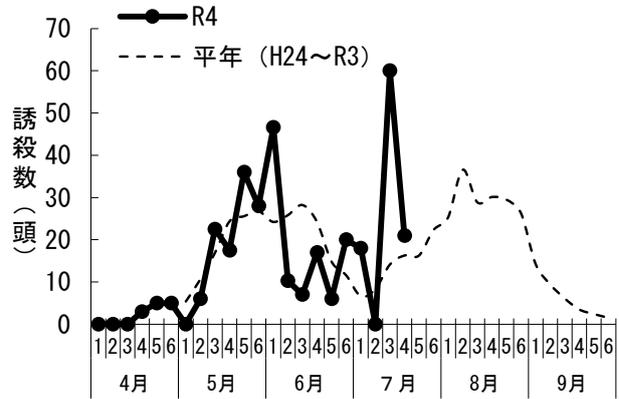


図11 軽米町におけるタマナギンウワバのフェロモントラップ誘殺状況

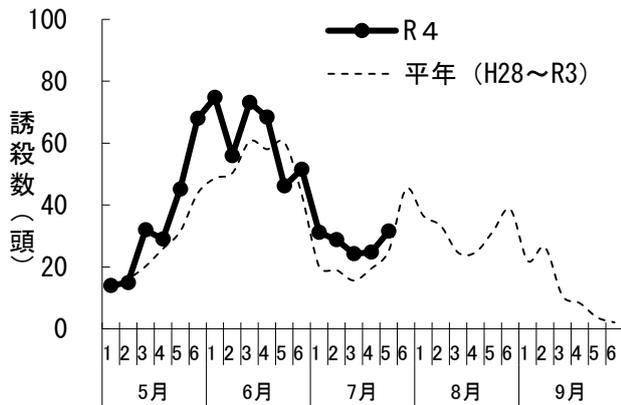


図12 岩手町におけるタマナギンウワバのフェロモントラップ誘殺状況

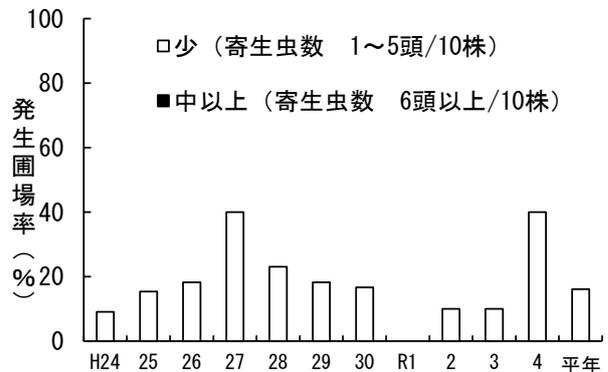


図13 ウワバチリョウ類幼虫発生圃場率の年次推移（7月中旬）

4 モンシロチョウ

- (1) 7月中旬の巡回調査では、幼虫の発生圃場率は40.0%（平年30.9%）で、平年よりやや高かった（図14）。
- (2) 幼虫の発生は、適期防除が行われている圃場では少なかった。

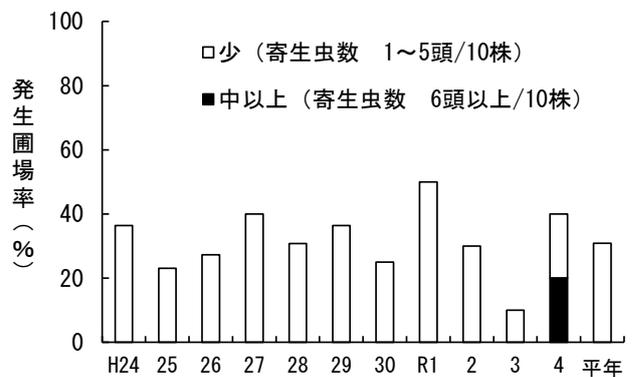


図14 モンシロチョウ幼虫発生圃場率の年次推移（7月中旬）